





## 要請内容

- 1年生から8年生まですべてのコンピュータークラスを担当。

## 学校内の活動

- パソコン指導 週10時間程度
- 体育の指導 週6時間
- 音楽や日本語
- マンパワー

## 職場

- 教員の活動に積極的に参加

## その他の活動

- スクールニュース
- 学校対抗運動会
- 地域のパソコン教室
- 日本語教室・音楽教室等

## ステイ先・私生活

- 家族との時間を大事に
- 息抜きのために  
隊員連絡所を上手に活用



## 現職教員として

- 自分の今までの経験が役に立った。  
言葉が通じなくても教育活動ができた。
- 日本の教育、世界の教育について考える  
ようになった。  
自国に対して誇りをもつことを教わった。
- 日本に帰ってから、国際理解教育  
道徳教育で活用。体験したことを語れる。

## アドバイス

- 郷にいれば郷に従え  
まずは相手を理解し好きになって
- 貴重な2年間を楽しんで  
健康・安全に気をつけて
- 本をたくさん読み、視野を広げ  
自分の価値観をこわして



JOCV

## ミクロネシア 活動報告

14—1次隊 間宮 多恵 wqtqc016@ybb.ne.jp  
品川区立清水台小学校勤務

### 1. 出発前

任国についての情報収集

心配事 ①生活環境

②持つて行くもの等準備

→現地で活動している隊員とコンタクトをとること。

あまり、心配しすぎず行ってから考える。

☆持つて行ってよかつたもの。化粧品・ビタミン剤・薬・日本のもの(折り紙等)・写真  
買い物をしなくても一ヶ月はくらせるように、洗剤やシャンプー等身の回りのものを  
持つて行ったのは正解だった。村だと買い物ができない。

☆語学については、現地語もあったが、英語が通じるので英語で通してしまった。

### 2. 活動報告

任国:ミクロネシア連邦

ヤップ州(ヤップ島) ガギール ガギール小学校

町から車で30分 (バスやタクシーを利用)

ステイ先: ガギール ワンヤン村 (2年間ホームステイをした)

要請内容: 1年生から8年生までのコンピュータクラスの指導

カリキュラム作り 教員や村の人たちへの指導

☆実際行ってみたら、パソコン室もできたばかりで環境は整っていた。

インターネットにも接続していた。教育省のサポートもよかったです。

時間割を組んで早速指導を行った。

☆1~6年生 週1時間 7・8年生 週2時間

☆パソコンの基礎から全員スタートだった。資料がなかったので、「Amazon.com」を利用して書籍を購入。英語がそのまま使えるので便利だった。

☆慣れてくると、体育をやってほしいと言われ、1~6年生に週1時間行った。

☆日本語の指導や音楽の指導にも興味があったので、行った。マンパワーとして求められてできることは進んでやった。

☆1年目は、職員とのコミュニケーションを取り、この国がどのような価値観で子ども達を教育しているのかを教えてもらった。活動は求められたことのみ行った。

☆2年目は、スクールニュース、学校対抗運動会、地域のパソコン教室など、楽しんできること、喜んでくれることは、進んで行った。

☆無理せず、「明日できることは今日するな」という南国のペースに合わせ活動した。

### 3. 私生活

ホームステイ：家族との時間を優先し、積極的に村の仕事にも参加した。

息抜き：ステイはお互いが気を遣うので、うまく息抜きをすることが大事。

月3回くらいのペースで週末は隊員連絡所で週末を過ごした。

任国内旅行、任国外旅行も楽しんだ。

### 4. 現職教員として参加して

①自分の今までの経験が役に立った。

・言葉が通じなくても教育活動ができた。

②日本の教育、世界の教育について考えるようになった。

・自分の国に誇りをもつことを教わった。

③日本に帰ってから国際理解教育・道徳教育で活用。

・体験したことを語れるというのは、財産となった。

### 5. 最後に

①郷にいれば郷に従え

☆まずは相手を理解し、好きになることからはじめてください。

②貴重な2年間を楽しんで

☆せっかく縁があつていかれる国なので、健康・安全に気をつけて楽しんでください。

③本をたくさん読み、視野を広げて

☆自分の価値観をこわして、新しい価値観を得てきて下さい。

☆時間がたっぷりあるので、本をたくさん読んでみて下さい。